

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL http://www.ksk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 具美
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 牧野 信之 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,555	10.2	204	17.1	216	15.8	137	14.2
29年3月期第1四半期	3,226	2.3	174	△24.3	186	△23.4	120	△21.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 164百万円 (25.4%) 29年3月期第1四半期 130百万円 (△31.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	22.76	22.39
29年3月期第1四半期	19.38	19.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,947	9,448	72.4
29年3月期	13,381	9,551	70.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 9,372百万円 29年3月期 9,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	44.00	44.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	6.6	1,300	4.1	1,330	3.4	880	△1.7	145.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	7,636,368株	29年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,599,785株	29年3月期	1,599,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	6,036,606株	29年3月期1Q	6,210,705株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き企業業績が好調に推移し雇用環境の改善も続いていること等から、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外では欧米の政治情勢の変化や、アジアにおける地政学的リスクの高まりなどがあり、先行は不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、企業業績の改善と人手不足を背景に企業のシステム化投資は堅調に推移し、技術者の需給環境も依然として供給が需要に追いつかない状況が続いております。

このような環境の中で当社グループでは、引き続き住宅建設業者向けパッケージソフトウェアの全面改良を進めるとともに、不足する技術者は新卒採用により解消するという方針の下、今年度も昨年を上回る新卒者を採用し3ヶ月間の基礎教育を実施するなど、今後の成長に向けた投資を行ってまいりました。また、受注単価についても積極的に改定交渉を行い、薄利案件の撲滅と利益率の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,555百万円で329百万円の増加（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は204百万円で29百万円の増加（前年同四半期比17.1%増）、経常利益は216百万円で29百万円の増加（前年同四半期比15.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は137百万円で17百万円の増加（前年同四半期比14.2%増）となりました。

当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

半導体設計業務や組込ソフトウェア業務では引き続き車載関連の業務が増加しており、受注単価も比較的高水準であること等から、売上高は758百万円（前年同期比17.7%増）、セグメント利益は182百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

住宅建設業者向けのパッケージソフトの開発や大口開発案件に注力しつつ、開発と保守の分離や住宅建設分野の技術者を集約するなど、体制を大幅に見直したこと等により、売上高は939百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は113百万円（前年同期比31.0%増）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

今後も需要の増加が期待できることから、新卒採用者の過半数を配属するという思い切った人材投資を行ったこと等により、売上高は1,858百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は323百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ583百万円減少いたしました。これは主に、仕掛品が112百万円増加した一方で、現金及び預金が292百万円、受取手形及び売掛金が418百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は4,879百万円となり、前連結会計年度末に比べ148百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が110百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は12,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ434百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ346百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が60百万円、その他流動負債に含まれる預り金が210百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が220百万円、賞与引当金が428百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は1,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が15百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ330百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は9,448百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により137百万円、その他有価証券評価差額金が20百万円増加した一方で、利益剰余金が配当の支払により265百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月2日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,363	4,070
受取手形及び売掛金	3,106	2,687
有価証券	500	500
商品	3	-
仕掛品	121	234
原材料及び貯蔵品	0	1
その他	555	574
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,650	8,067
固定資産		
有形固定資産	601	593
無形固定資産	218	277
投資その他の資産		
投資有価証券	3,366	3,477
その他	567	555
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	3,910	4,008
固定資産合計	4,730	4,879
資産合計	13,381	12,947
負債の部		
流動負債		
買掛金	213	196
短期借入金	40	100
未払法人税等	315	94
賞与引当金	919	490
工事損失引当金	2	6
その他	922	1,179
流動負債合計	2,413	2,067
固定負債		
退職給付に係る負債	1,146	1,161
資産除去債務	44	44
その他	224	224
固定負債合計	1,415	1,431
負債合計	3,829	3,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,636	1,636
利益剰余金	7,230	7,102
自己株式	△946	△946
株主資本合計	9,370	9,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276	297
退職給付に係る調整累計額	△173	△167
その他の包括利益累計額合計	103	130
新株予約権	72	73
非支配株主持分	5	2
純資産合計	9,551	9,448
負債純資産合計	13,381	12,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,226	3,555
売上原価	2,606	2,856
売上総利益	620	699
販売費及び一般管理費	445	495
営業利益	174	204
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	4	3
保険配当金	2	3
その他	0	0
営業外収益合計	13	11
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	0	-
営業外費用合計	0	0
経常利益	186	216
特別損失		
固定資産除却損	0	-
投資有価証券評価損	3	-
特別損失合計	3	-
税金等調整前四半期純利益	182	216
法人税等	62	78
四半期純利益	120	137
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	120	137

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	120	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	20
退職給付に係る調整額	6	6
その他の包括利益合計	10	26
四半期包括利益	130	164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130	164
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	643	875	1,707	3,226
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	1	0	1
計	643	876	1,707	3,228
セグメント利益	136	86	296	519

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	519
セグメント間取引消去	25
全社費用（注）	△370
四半期連結損益計算書の営業利益	174

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	758	939	1,858	3,555
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20	3	24
計	758	960	1,861	3,580
セグメント利益	182	113	323	619

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	619
セグメント間取引消去	25
全社費用（注）	△440
四半期連結損益計算書の営業利益	204

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。